

3. ベトナムにおける医療安全推進のための院内組織連携強化事業

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

ベトナムでは保健省を中心に病院内の医療安全管理体制が整備されてきた。一方、病院内の医療安全を担う品質管理部と臨床部門の連携には課題が残っており、保健省及び主要病院（過去の事業関係者）から支援要請があった。

【事業の目的】

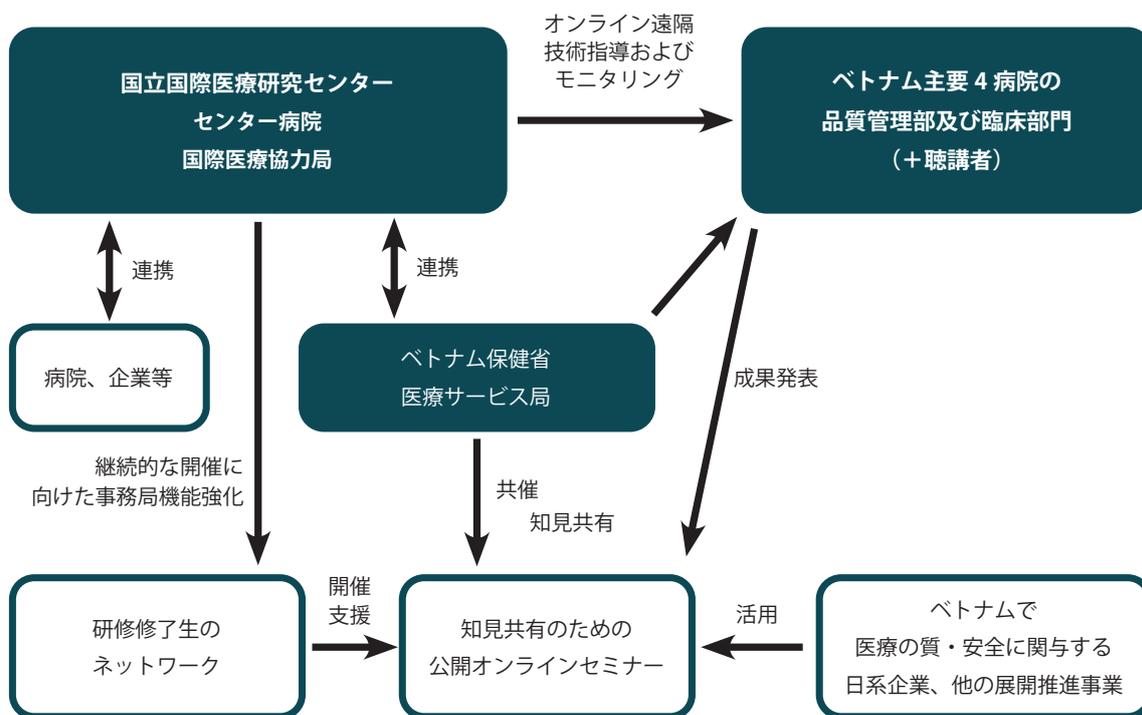
本事業では国立国際医療研究センターがベトナム保健省と連携して次の活動を実施する。

- ① ベトナム主要4病院を対象としたオンライン遠隔技術指導（研修含む）およびモニタリング
- ② 主要4病院における知見共有のためのオンラインセミナーの開催支援
- ③ フォーラムやSNS等のプラットフォームを活用した情報共有システムの活性化による成果共有

本事業では今年度を通じて、①、②により医療安全の推進に有効な改善のプロセスを見出し、さらにその成果及びグッドプラクティスを③を活用して幅広く共有する。

【研修目標】

- ・ オンライン講義やディスカッションを通じて、NCGM およびベトナムの先進的な取り組みを行う病院の活動の知見や経験を共有し、医療安全推進のための活動について理解を深める。
- ・ 研修員が病院における医療安全推進のためのアクションプランを策定する。
- ・ オンラインのメリットを活用し、多くの研修員に研修内容を共有する。

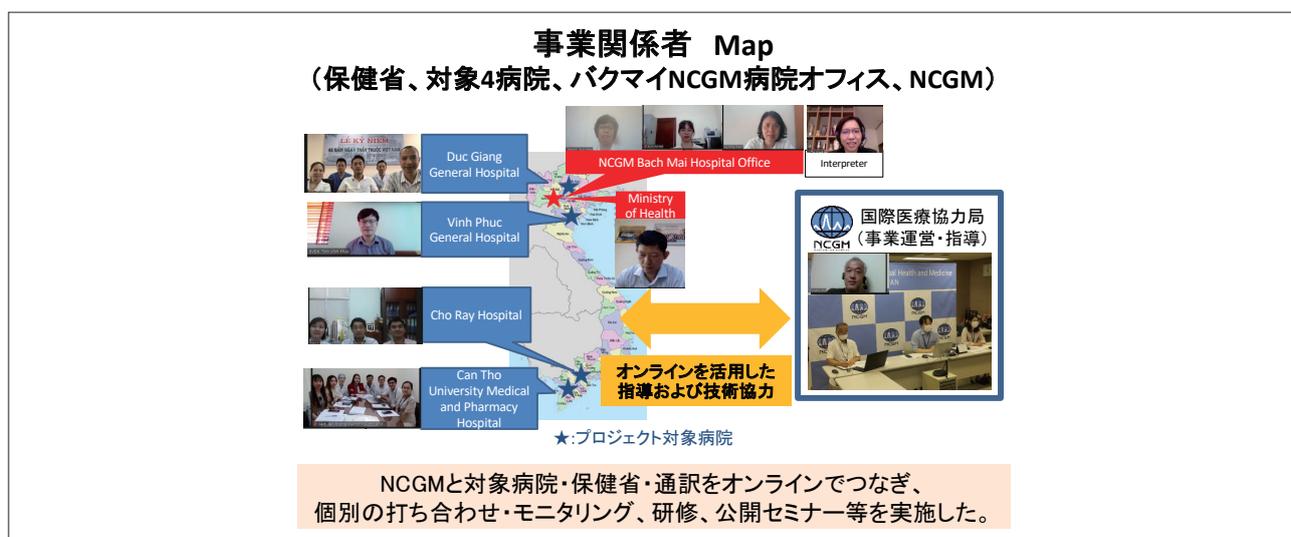


「ベトナムにおける医療安全推進のための院内組織体制強化事業」について報告します。ベトナムでは医療事故等が社会問題となり、保健省を中心に医療安全管理体制が整備されてきました。病院では品質管理部が設置され、当事業はこれまでに品質管理部の部長や病院管理職を中心に、研修を実施し、現地フォーラムの開催を支援することで、ベトナム国内の医療従事者に知見共有の機会を提供してきました。近年のCOVID-19の状況下においては、渡航が困難となったため、オンライン研修を基盤とした事業実施体制を整備してきました。今年度は、4病院を対象にオンライン遠隔技術指導およびモニタリングを実施し、そこで得られた改善のプロセスや経験を共有するためのオンライン公開セミナーを実施しました。

実施体制は図に示すとおりです。NCGMとベトナム4病院（過去研修対象となったチョーライ病院、カントー医科薬科大学病院、ドゥックザン病院、ビンフック総合病院）をモデル病院として、それぞれの個別の状況に応じたオンライン研修を実施しました。また、当初は学会のようなフォーラムを検討し、4病院以外からも多くの病院から知見を共有する機会を考えておりましたが、COVID-19の再拡大によりすべての病院が対応に迫られ、会合を行う時間を調整することも困難でした。そのため2月に4病院の経験を共有する公開のオンラインセミナーを開催しました。

1年間の事業内容												
2021年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
事業調整	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム保健省担当者との打ち合わせ(4月) 4病院への事業説明(4/22, 4/27①, 4/27②, 4/28) 現地スタッフ雇用および調整業務等の依頼(4月～2月) 											
オンライン遠隔技術指導およびモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> キックオフミーティング(5/27) 対象4病院への技術指導(6/21, 7/2, 7/7, 7/29, 8/5, 8/19, 9/15, 12/23, 1/27, 2/28) 											
研修教材等の作成	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム語動画教材等作成(4月～8月) 											
オンライン研修	<ul style="list-style-type: none"> 対象病院とのオンライン研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> Duc Giang General Hospital (9/7～9/9) Can Tho University Medical and Pharmacy Hospital (11/24～11/26) Vinh Phuc General Hospital (12/22) 											
経験共有のための公開オンラインセミナー											オンラインセミナー (2/21～2/22)	

一年間の事業内容です。事業を開始するにあたり、現地スタッフを雇用して対象病院との連絡・調整や翻訳、参加者名簿の管理、アンケート集計、COVID-19に関する現地の情報収集などを依頼しました。4月はカウンターパートであるベトナム保健省医療サービス局と連携し、対象病院を選定しました。対象病院には、個別に事業説明を行い、個々の状況に応じた技術指導をオンラインで実施しました。技術指導に際して、できるだけディスカッションの時間を設けるため日本側の講義を事前にベトナム語で翻訳した動画を作成するなどの工夫を行いました。COVID-19の再拡大もあり、研修の実施が困難でしたが、年度後半にかけて、対象病院とのオンライン研修を開催することができました。2月には4病院の知見をより広く公開することを目的に、オンライン公開セミナーを行いました。



こちらは当プロジェクトの関係者マップです。このように日本とベトナム各地の病院を繋ぎながら、アクションプランの作成や個別の打ち合わせ、研修、公開セミナーを行いました。オンラインのメリットとして、移動時間を省くことができるため、多忙な環境でも会議等の時間を調整することができました。

研修例：安全な輸血と正しい患者の識別に関する院内研修 (2021年12月23日 @Vinh Phuc General Hospital)



オンラインのメリットを生かし、病院内の各部署および個人のスマートフォンなどから研修にアクセスが可能となった。他の対象病院からもオンラインで参加し、**計376名**が受講した。

5

こちらは研修の様子です。12月に行った「安全な輸血と正しい患者の識別に関する院内研修」の様子です。オンラインのメリットとして、会議 URL を知っていれば、オンライン環境下でどこでも研修にアクセスすることができます。COVID-19 の状況下では、集合研修にも人数制限がでておりましたので、各自のスマートフォンを活用して、自宅から研修を受けることもできるこのシステムは、今後も活用できると考えています。特に、医療安全のようなすべての職種に広く周知すべき研修については、研修へのアクセスのしやすさが重要かと思えます。また、Vinh Phuc General Hospital のみならず、他の対象病院も研修に参加することができ、従来より多くの方が研修を受講することができました。

今年度の成果指標とその結果

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前の計画	1) 対象4病院へのオンライン遠隔技術指導およびモニタリング 2) 医療の質・安全フォーラム開催支援 3) オンライン研修システムやSNS等のプラットフォームを活用した情報共有システムの活性化 4) フォーラム参加及び現地指導（渡航が可能となった場合）		・本事業の取り組みが、保健省やメディア等を通じてベトナムの医療安全を推進する関係者に共有される。 ・医療の質・安全フォーラムが、設立された運営組織のもと、継続的に定期開催される。
実施後の結果	1) 保健省と打ち合わせ 1回、4病院への事業説明 4回、Kickoff meeting 1回、4病院への個別指導 10回、オンライン研修 3回 2) COVID-19の再拡大によりフォーラムではなくオンライン公開セミナーを実施。 3) オンライン会議システムを使用した院内研修、医療安全のベトナム語動画作成、プロジェクトFacebookの活用、 4) COVID-19の再拡大に伴い渡航不可。	1) アクションプランの作成 ・Can Tho University Medical and Pharmacy Hospital 「患者確認」研修参加者442名 ・Duc Giang General Hospital「安全な手術」研修参加者106名 ・Vinh Phuc General Hospital 「安全な輸血」研修参加者376名 ・Cho Ray Hospital 「転倒転落」COVID-19対応のため研修実施できず。 2) オンライン公開セミナー参加者297名(60病院) 3) オンライン会議システムの活用により、集合研修のリスクの低下、またスマートフォンからのアクセスが可能となった。プロジェクトが2021年度に実施した際に作成したFacebookページ及び過去研修員に、セミナーの案内を周知した。 4) COVID-19の再拡大に伴い渡航不可。	当事業がこれまでに築いてきたプラットフォームや関係者のネットワーク、Facebook等のコミュニケーションツールは、知見をより現場に普及できる可能性がある。

6

今年度の成果指標とその結果です。今年度は次の4点について取り組みました。

1. 対象4病院へのオンライン遠隔技術指導およびモニタリング
2. 医療の質・安全フォーラム開催支援
3. オンライン研修システムやSNS等のプラットフォームを活用した情報共有システムの活性化
4. フォーラム参加及び現地指導（渡航が可能となった場合）

実施結果は記載の通りです。COVID-19による影響もありましたが、対象病院への研修もオンラインを活用して実施することができ、これまでの研修生のネットワークやFacebookなどのプラットフォームを活用して、4病院の経験を共有することができました。

今年度の相手国への事業インパクト

健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者(延べ数)

遠隔システムを用いた講義・実習・セミナーを受けた研修員の合計数

研修内容	1 st 安全な手術 (9/7-9/9)	2 nd 患者の正しい識別 (11/24-11/26)	3 rd 安全な輸血と 患者の正しい識別 (12/22)	公開オンラインセミナー (2/21-2/22)
対象病院	NCGM & Duc Giang General Hospital	NCGM & Can Tho University Medical and Pharmacy Hospital	NCGM & Vinh Phuc General Hospital	NCMG & 対象4 病院 (60 病院参加)
医師	63	162	142	85
看護職	42	198	212	123
技士	-	29	9	4
薬剤師	-	12	-	3
他職種	-	39	13	82
計	106	442	376	297

医療安全においては、医療従事者のみならず病院の全職員が理解し、実践する必要があるため、多職種に対して研修を実施し、**計1,221名**が受講した。 7

相手国への事業インパクトは、研修のアクセス数かと思えます。COVID-19の状況においては、スケジュールの延期や関係者の感染などで、4病院がアクションプランを最後まで実施し、前後比較を行うことが困難でした。一方で、標準手順書や動画などの教材を作成できた病院もあり、今後の評価を行うための準備ができたかと思えます。

これまでの成果

- 2015年度～2019年度：関連事業にて本邦研修5回、現地フォーラム5回実施。
- 2020年度：ベトナムビンフック省におけるオンライン集合研修の実施。
- 2021年度：4病院を対象としてオンライン個別指導および個別研修、オンライン公開セミナーの実施。

今後の課題

- COVID-19の再拡大により、病院内でのアクションプランの実施及び評価が十分に実施できていないため、継続的なフォローが必要である。
- 同時に、研修修了生を通じたネットワークづくりにより、年々多くの参加者が当事業に参加するようになった。今後も継続的な課題である、ベトナム国内で自発的な経験共有の機会が展開されるような仕組みづくりを支援する必要がある。

8

これまでの成果と今後の課題です。2015年度から2019年度は、関連事業で本邦研修5回、現地フォーラム5回実施しました。2020年度は、ベトナムビンフック省において、NCGMとベトナムを繋いだオンライン集合研修を実施しました。2021年度は、4病院を対象としてオンラインによる個別指導および個別研修、オンライン公開セミナーを実施しました。これらにより、研修修了生のネットワークやベトナムでの共通のコミュニケーションツールであるFacebookページなどが設置されました。

今後の課題として、COVID-19の再拡大により、病院内でのアクションプランの実施及び評価が十分に実施できていないため、継続的なフォローが必要と考えます。同時に、研修修了生を通じたネットワークづくりにより、年々多くの参加者が当事業に参加するようになりました。今後も継続的な課題ではありますが、ベトナム国内で自発的な経験共有の機会が展開されるような仕組みづくりを支援する必要があります。

将来の事業計画

- オンラインの活用により、これまで一部の研修員しか参加できなかった研修が、より多くのスタッフ、特に臨床部門への参加促進につながった。
- 特に、医療安全のような病院全体のマネジメントに関する技術移転については、一部の医療従事者だけが実施すればよいというわけではなく、全職種が取り組むべきものであるため、病院幹部の巻き込みが必須である。本事業では、研修を実施した3病院は病院長、副院長がプロジェクトの打ち合わせ時から参加しており、研修に高いコミットメントがあり、その結果として研修に多くの医師が出席したと考えられる。
- さらに病院を超えて知見を共有するためには、成功例だけを示すのではなく、どのように実施したことで困難を乗り越えられたのか、また失敗したのかというプロセスを提示することが重要である。
- COVID-19の拡大で関係者が多忙であり、今年度は過去の学会のようなフォーラムは実施できなかったが、状況が落ち着けば、オンラインでのフォーラム開催は技術的に可能である。また、ベトナム国内での病院を超えた知見の共有機会は少なく、事業継続に関する現地からの要望もあるため、こうしたプラットフォームづくりを介してベトナムの医療安全の向上に貢献できると考える。

9

最後に、将来の事業計画です。オンラインの活用により、これまで一部の研修員しか参加できなかった研修が、より多くのスタッフ、特に臨床部門への参加促進につながりました。特に、医療安全のような病院全体のマネジメントに関する技術移転については、一部の医療従事者だけが実施すればよいというわけではなく、全職種が取り組むべきものであるため、病院幹部の巻き込みが必須です。

本事業では、研修を実施した3病院は病院長、副院長がプロジェクトの打ち合わせ時から研修に高いコミットメントがあり、その結果として研修に多くのスタッフ（特に医師）が出席したと考えられます。さらに病院を超えて知見を共有するためには、成功例だけを示すのではなく、どのように実施したことで困難を乗り越えられたのか、また失敗したのかというプロセスを提示することが重要です。COVID-19の拡大で関係者が多忙であり、今年度は過去の学会のようなフォーラムは実施できませんでしたが、状況が落ち着けば、オンラインでのフォーラム開催は技術的に可能です。

また、ベトナム国内での病院を超えた知見の共有機会は少なく、事業継続に関する現地からの要望もありますので、こうしたプラットフォームづくりを介してベトナムの医療安全の向上に貢献できると考えます。